２年連続でリオに出場！＝日本のサンバチーム、路上で

昨年出場した時のメンバーらと観客の記念写真

昨年日本人で初めてリオのカーニバルの公式プログラムに参加した、東京都を拠点に活動するサンバチーム「ケール・スウィンガール・ヴェン・プラ・カ」（以下ＱＳＶＰＣ、宮澤摩周代表）。今年も3月3日午前１１時から、リオ市ヴィラ・イザベル区のバラォン･デ･ドゥルモンド広場で路上パレードを行う。

２００５年から作曲家で打楽器奏者のメストリ・トランビッキ氏に師事していた代表の宮澤氏。師の教えを体現するために１２年に日本でチームを結成。１６年に師は亡くなったが、昨年は同チームのリオ支部と共にリオのカーニバルに初出場した。

昨年は約１千人の前で、2時間程度サンバの楽曲を演奏。カリオカ達から称賛の声が上がり、2年連続で出場することが決まった

１９年の演奏テーマも、演奏家のメストリ・トランビッキ氏への哀悼と生前の功績への敬意だ。彼を慕う多くのミュージシャンと共に演奏に参加する。